コンビネーション３５５号

キー・スクエアは１段空けて前３マス

函館チェスサークル・インターネット通信
２０１７年6月2日発行

手前ボードが第 3 位の佐藤さん（左）と準優勝の渋谷君（右）

θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ

函館ブリッツに札幌の佐藤さんが参加

θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ

番号	Name	Elo	得点	ランク	TB1	TB2	
1	Shibuya Kaisei	1602	4.5	2	25	17.25	
2	Kinjo Runa	1554	5	1	22	17.5	
3	Sato Takeru	1491	4.5	3	23	16.25	
4	Kinjo Yasuhiro	1490	4	5	21	11.5	
5	Kinjo Toya	1440	4	4	24	15	
6	Kudo Tokushi	1200	3	9	19	6	A
7	Kimura Yusei	1164	3	10	17	5	A
8	Kobayashi Yuka	1148	4	7	19	9	A
9	Nakagawa Hiraku	1137	3	12	15	4	A
10	Kimotsuki Tokiho	1049	4	6	19	10	A
11	Yamada Yukiya	1000	2	13	18	2	B
12	Kudo Sonosuke	837	3	8	21	8	B
13	Katsumata Kai	800	1	17	13	0	B
14	Kobayashi Hinata	800	3	11	16	6	B
15	Kudo Eito	800	2	16	12	1	C
16	Kudo Serina	800	0	18	13	0	C
17	Kimotsuki Tomohi	712	2	15	14	1	C
18	Kimurara Akane	712	2	14	16	3	C

函館ブリッツ・チェス大会の戦績表

今大会に札幌の佐藤さんが参加されました。チェスを初めて１年もたたないのに堂々の第３位です。うれしいサプライズをありがとうございました。

Ａクラスの入賞者を以下のように訂正します。敢闘賞は当日決定です。

入賞者訂正　＜Ａクラス＞

優　勝：肝付　凱帆 4.0

準優勝：小林　由佳 4.0

第３位：工藤　徳士 3.0

函館ブリッツ・チェス大会より

戦績表でランクというのが順位、TB1 は対戦相手の得点合計、TB2 は勝った相手の得点合計で、それぞれタイブレークの点数です。得点が同じ場合、その優先順で順位を決めます。たとえば肝付凱帆君と小林由香さんは得点 4 点、TB1 も 19 で差がない。ですから TB2 のわずかな差で順位がつきました。スイス・トーナメントでは定番の計算法です。

各クラスの優勝者以外で注目は、金城康弘さんと透弥君がそれぞれ佐藤さんと金城琉菜さんを破ったことと、由香さん、漱之介君、ひなた君が格上を破ったことでした。

θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ

全国のチェス・ファンにおすすめの大会！

θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ

7 月 1 日のサマーと 11 月 25 日の函館大会は、もともと函館の地元の子供たち全員に本格的なチェスを体験させるため始めたトーナメントです。

とはいえ、大会の運営レベルは世界標準クラスの自信がありますし、それだからこそチェス初心者は参加しやすく、勉強になると思います。函館観光も大いに魅力になるでしょう。全国のチェス・ファンにおすすめの大会です！

日　時	2017 年 7 月 1 日(土)　13:00～17:00 2017 年 7 月 2 日(日)　9:00～18:00
場　所	函館市総合福祉センター(JR 駅そば)
形　式	JCA 公式戦、スイス 5R クラシカル 40 分＋1 手 30 秒累加、開始 120 分過ぎから 5 分追加の累加なし 1R のみラピッド（早指し）25 分
日　程	1 日：集合 13:00、1R 13:30、2R 14:30 2 日：3R 9:15，4R 12:30，5R 15:00
その他	参加費 1,000 円以下、詳細は次号
参　加	kamiyakumo@gmail.com 山田まで！

事前エントリー制ですので（6 月 29 日付のメールまで有効）早めにご連絡ください。

θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ

全日本選手権チャレンジ（再掲）

θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ

第１問

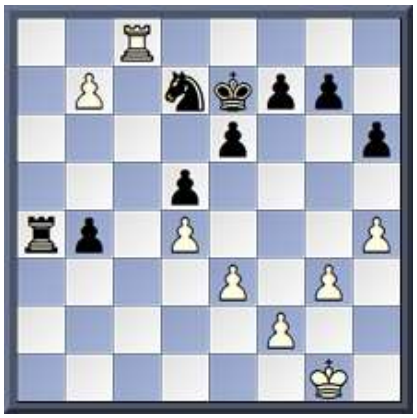
黒番　次の一手　（難易度★）

１Ｒ　アーケネッテ vs. 山田弘平

θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ

第２問

白番　次の一手　（難易度★★）



３Ｒ　野口恒治 vs. 山田弘平

θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ

第３問

黒番　次の一手　（難易度★★★★）

５Ｒ　佐野富 vs. 山田弘平

θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ

第４問

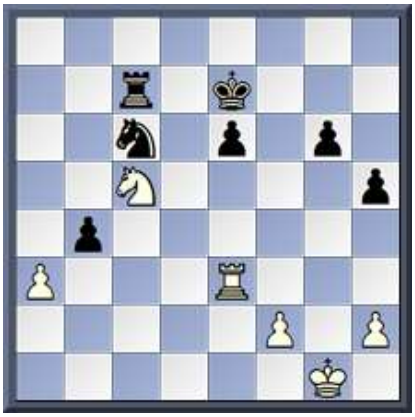
黒番　次の一手　（難易度★★★）

８Ｒ　塩見亮 vs. 山田弘平

θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ

第５問

白番　次の一手　（難易度★★）

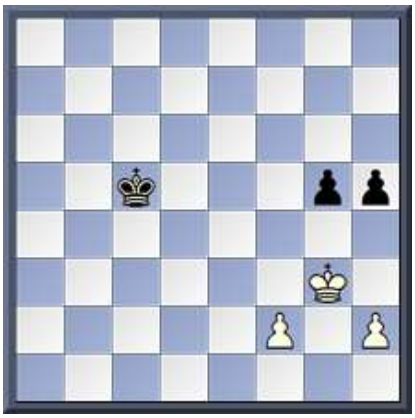


９Ｒ山田弘平 vs. 中村尚広

θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ

第６問

白番　次の一手　（難易度★★★★）



９Ｒ山田弘平 vs. 中村尚広（変化図）

θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ

以上、コンビネーション前号で出題された問題です。次ページ解答は自分の意見を決めてから読んでみましょう。

θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ

全日本選手権特集（３）
全日本選手権チャレンジ解答

θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ

第１問　16... b5! -+（黒勝勢）

ナイトフォークを恐れずクイーン取りにポーンを突くのが好手です。17.Qc2 ならば 17...Bxa3 18.Ne5 Qc7 19.Nxc6 Qxc6 で黒の駒得です。17.Qa5 には 17...Bd8! とクイーン・トラップがあるのがポイントです。

第２問　34.Rc7! +-（白勝勢）

この手以外は白勝てません。黒は駒得していますが働きが悪く、b7 のポーンを止めることができません。34...Kd8 には 35.Rxd7+! Kxd7 36.b8Q で白の勝ちです。実戦では 34 手で黒リザインです。

第３問　14.g5!? -/+（黒優勢）

白の不用意なキャスリングをこの一手でとがめます。14.fxg5? であれば、e5 のマスが空くため 14...Ne5! と飛んで黒がセンターからキングサイドを支配することができます。しかし放っておけば gxf4 が厳しく、白はキングサイドを支えることが難しくなっています。

実戦は 14.g5 に対して 15.e5!と反撃してきましたが、以下、15...dxe5 16.Bxb7 Qxb7 17.fxg5 hxg5 18.Nd2 Nc5 19.Qg3 b4 20.Qxe5 Ncd7!までピースアップし勝ちになりました。

さて、問題図では **14.b4!** を考えた人も正解です。こちらの手では先にナイトが追えるため、15.Ne2 g5! に対して e5 突きのような反撃がなく、より安全に攻めることができたようです。

全日本選手権での小島慎也さんと、右奥の山田弘平

第４問　18...h6! 19. Nh3 g5! -/+（黒優勢）

このゲームは、白のポーン・フォーメーション（ポーンの陣形）が３個対３個。対して黒の方はキングサイド４個対クイーンサイド２個と、良く出てくる形になっています。

このフォーメーションは重要なので、そのうちきちんと勉強しましょう！

さて、現時点では黒がポーンの多いキングサイドでスペースをとり、白の陣地にプレッシャーをかけています。

図では、キングサイドでポーンを伸ばし、ナイトを端に追いやるのが好手です。

驚いたことに、白は黒のポーンフォーク g4 を受ける手が難しくなっています。たとえば 20.Qd3 などの手では、20...g4! と突かれて h3 ナイトの逃げ場がありません。

端のナイトがなぜ悪形か、この局面によく現れています。

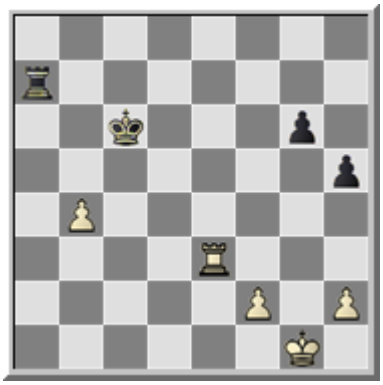
函館ブリッツ・チェス大会より

第５問　35. Nxe6! +/- (図Ａ、白優勢)

図Ａ

以下、実戦では 35... Ra7? 36. Nd4+! Kd7 37. Nxc6 Kxc6 38. axb4 +/- （図Ｂ）でした。

図Ｂ　黒番



取られた b ポーンを取り返す前にナイトで e6 のポーンを取るのが好手です。白ナイトの利きがルークに当たっているため、黒はルークをよけなくてはなりませんが、白は Nd4+ からナイトが交換できるため、ワンポーンアップのルーク・エンディングに入ることができます。

函館ブリッツ・チェス大会より

ルーク・エンディングはドローになりやすいのですが、この場合、黒のキングが g、h ファイルのポーンに遠いため、白のキングで g、h のポーンを取りに行くことができます。

ちなみに図Ａのとき、黒としては、35...Rc8! としておくべきでした。本譜との違いは、36.Nd4+ に対して 36.Kf6! と、こちらに上がれることで、白のパスポーンをルークで止めるようにすれば、十分なドローチャンスがあったでしょう。

図Ｂから 38...Kb5 39. Re6 Rg7 40. Re4 g5 41. Kg2 Ka4 42. Kg3 Rc7 43. b5+! （図Ｃ）

図Ｃ　黒番

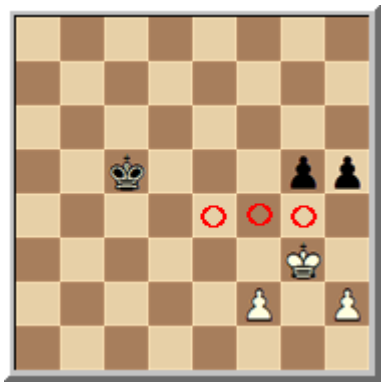
白がパスポーンを一つ進めました。

一見タダ捨てのようですが、43...Kxb5 44.Re5+ で g と h の黒ポーンを取ってしまう狙いです。

実戦では 43... Ka5 でしたが、43...Kxb5 44.Re5+ Rc5 45.Rxc5+ Kxc5（図D）の後、白は勝てるでしょうか？

ヒントは「キー・スクエア」です。

図D（第６問の問題図）　白番白勝ち



変化手順からの出題ですが、実戦ではきちんと読み切っておく必要があります。答えは以下の手順で白勝ちになります。

函館ブリッツ・チェス大会より

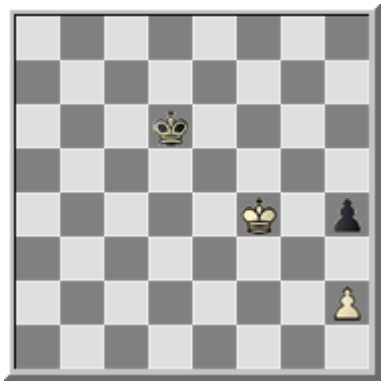
第６問　46. h4! gxh4+ 47.Kxh4 Kd5 48.Kxh5 Ke4 49.Kg4! +−（白勝勢）

ポイントは f2 ポーンのキー・スクエアです。５段目より手前のパスポーンの場合、**キー・スクエアは１段空けて前３マス**になることは以前勉強しましたね。（コンビネーション 344 号）

この場合、e4, f4, g4（問題図の○印）がキー・スクエアになるため、白は h5 のポーンを取った後、キングが g4 に戻ってくることさえ読めていれば白の勝ちだと判断できます。

問題図に戻って、46.f4 はどうでしょうか。h ファイルにパスポーンを作った方が黒のキングから遠いため一見良さそうですが、この手で勝つことはできません。46.f4 h4+! 47.Kg4 gxf4 48.Kxf4 Kd6（図Ｅ）でこの局面はドローです。

図Ｅ　白番ドロー



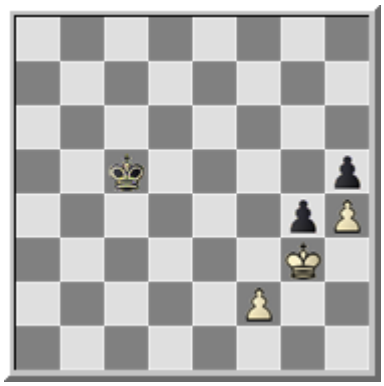
h ファイルのパスポーンの場合、キー・スクエアは g7 になってしまうのです！

図Ｅから 49.Kg5 Ke7 50.Kg6 Kf8 となり、（たとえ黒ポーンが h4 になかったとしても）白は g7 のマスを取れないので勝てません。

ちなみに問題図（図D）にもどって、46.h4 g5!?（図Ｆ）と変化した場合にも白が勝ちですが、本当にそうなるのでしょうか。

それを確かめるのはみなさんにおまかせします。

図Ｆ　白先白勝ち



（解説　ＦＭ山田弘平）

θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ θ